

秩父市野坂町の市立南小学校（萩原敦校長、児童71人）で22日に卒業式が行われ、6年生25人が国指定伝統的工芸品の絹織物「秩父銘仙」を羽織って、母校を巣立った。

銘仙羽織って

秩父南小で卒業式

華やか旅立ち



秩父銘仙姿で母校を巣立った卒業生—22日午前、秩父市野坂町の市立南小学校

秩父銘仙を着用した卒業式は2018年から実施。6年生は毎年、総合的な学習の時間で体験した秩父銘仙の染め物を着用して、晴れやかな花道をくぐる。

6年生は卒業証書を受け取った後、保護者や在校生の前で同市立影森中学校でつくられた「旅立ちの日」を合唱。歴史と伝統が詰まった色彩豊かな銘仙の柄がステージ上に並び、会場の雰囲気がいっそう華やいた。

初めて秩父銘仙を着用した山中遼二郎さん（12）は「緊張したけど、いい卒業式だった」と満足そうな表情を見せた。貝崎真央さん（12）は「みんなきれいで似合っていた。先生たちに支えてもらった8年間だった」と笑顔で語った。

（中野春夫）